

世界のコレラ、下痢症の流行状況(更新 2)

2010年11月30日 ProMED 情報

(1)ウガンダ(北東部)[The New Vision (Uganda)]

Agago 地区で、さらに 2 名が赤痢アメーバで死亡し、10 月に始まった流行による死亡患者は 15 名になりました。また、症状がある別の患者 3 名が Kalongo で隔離されました。これら 5 名の患者は、Abim 地区に接している Paimol サブカウンティーからです。

11 月 15 日の週に、死亡患者 13 名(Agago 地区の Paimol と Omiya P'Chua サブカウンティーから 5 名と、隣接している Abim 地区から 8 名)が報告されています。

(2)チャド[UN Integrated Regional Information Networks (IRIN) News]

チャド南部の Tchinfo 村で、マッサ Massa 族の葬式があります。通常、同村の居住者は、死者の体の上に自分の体を投げ出したり、しばしば死者を抱擁したり、キスしたりするそうです。

11 月 24 日現在、チャド全域でコレラ死亡患者 166 名と患者 5,787 名が報告されました。政府の保健担当者は、葬式のやり方を変更するために住民を説得しなければなりません。

(3)ホンジュラス[La Tribuna (in Spanish trans.Corr.SB)]

疫学週報 45 週(11 月 7~13 日)に、15 歳以下の子供の下痢患者が 279 名増加したことが報告されています。患者は、Choloma、プエルトコルテス Puerto Cortes、Villanueva、Omoa で多数発生しています。

地方保健局によると、患者 87 名が 15 歳以上ですが、大部分が未成年者で、不潔な食品処理または不適切な貯蔵によるものです。

(4)メキシコ(タンピコ Tampico 市)[Milenio (in Spanish,trans.Corr.SB)]

タンピコ Tampico 市の衛生当局は、ハイチでのコレラ患者の継続的な発生、米国で何名かの患者の発生、患者がメキシコのタマウリパス Tamaulipas 州に入る危険性により、疫学状況を監視しています。

衛生当局は、重症の下痢患者 1,500 名の検便と 15 日毎に上水と下水の分析をしています。毎週、下痢患者 670 名が報告されますが、コレラの問題が心配であるため、誰でも 5 日間以上、5 回以上下痢をする場合は、保健センターに相談するよう呼びかけています。

(5)パプアニューギニア(西部州 Western province) [The Age (Australia)]

トレス海峡 Torres Strait のコレラの流行はパプアニューギニア(PNG)西部州のフライ Fly River 川デルタ地域の多くの島と沿岸の村まで広がり、死亡患者 100 名以上と何百名もの患者が発生しました。ダル Daru で、死亡患者 32 名と患者 888 名が発生しています。死亡患者の多くが子供です。